

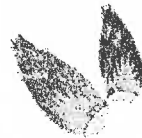
六文銭だより



【発行】
上田駅前交番
22-8613
【作成者】
山崎 あみ



山菜採りの遭難防止



例年、4月から6月にかけて県内では山菜採り目的で入山し、道迷いや急斜面での滑落により、死傷する遭難が多発しています。

山菜を探すことに夢中になるあまり、迷ったり、知らず知らずのうちに危険な場所に立ち入ってしまうことがあるため、多くのリスクをもたらします。

万が一に備えて、携帯電話、雨具、ヘッドライト、非常食・飲料などを必ず携行してください。

山菜採りで入山する際も、登山と同様に「遭難するかもしれない」という危機感を持つとともに、必ず家族や友人などに入山場所と予定を知らせましょう！

1 入山場所と予定を家族等に伝えましょう。

家族等身近な人に入山場所を伝えてから出掛けましょう。

家族から捜索願が出されても、入山場所が特定できなければ、捜索は非常に困難となります。



2 携帯電話を持って行きましょう。

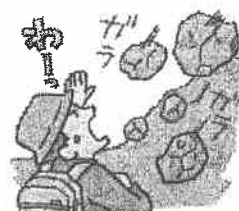


携帯電話は、万が一の際の重要な通信手段となります。

自宅や車内に置いていくことなく、必ず携帯して入山しましょう。

3 急斜面での滑落に注意しましょう。

急斜面は、非常に滑りやすく、表面が脆くなっている箇所もあります。足元に十分注意するとともに、危険のある場所への入山は避けましょう。



4 単独での入山は避けましょう。

単独での入山は、万が一遭難した時に、ケガなどにより救助要請ができない場合があるため、できるだけ複数人で入山しましょう。

複数で入山したものの、単独行動をしたために、遭難するケースも見受けられるので、同行者と声や目の届く範囲で行動しましょう。



5 熊など野生動物に注意しましょう。

山中で、熊やイノシシに不意に遭遇し、襲われることもあります。

野生動物からの危害防止のために、鈴やラジオなど音の出るものを携帯しましょう。

